

## 令和元年度第1回 四国森林管理局事業評価技術検討会 議事概要

1 開催日 令和元年7月9日(火) 13:30~15:40

2 場所 四国森林管理局 2階 A会議室

### 3 出席者

#### (1) 事業評価技術検討会 委員

高知工科大学 経済・マネジメント学群 教授 渡邊法美  
高知大学 教育研究部 自然科学系理工学部門 教授 笹原 克夫  
森林総合研究所四国支所 産学官民連携推進調整監 佐藤 重穂

#### (2) 森林管理局

森林整備部長、計画保全部長、企画調整課長、計画課長、治山課長、  
森林整備課長、資源活用課長

##### (説明者)

治山課 流域保全治山対策専門官、治山技術専門官、民有林治山係長  
国有林治山係長

森林整備課 課長補佐、設計指導官、森林育成係長、路網計画係長

##### (事務局)

企画調整課 監査官、監査係長

### 4 議事概要

#### ○期中の評価(治山事業3件)

笹原委員： 西熊山について、保全効果区域図について、区域図の設定の仕方に疑問がある。兩岸設定されているが、整合が取れていないと思われ、これを説明していただきたい。

局： 本来1つの図面にまとめると右と左で表示できたところ、左岸側が大規模な山腹工を施工しており、この区域を図示するところいった区域になるので、便宜上分けさせてもらった。一つの沢に対して、右岸側と左岸側という表示にしている。

区域の表示は、ダブルカウントを避けるためにこのような表示にしている。より工夫させていただきたい。

笹原委員： 祖谷川地区の地すべりの全体計画について、初期安全率0.97と表示されているが、説明では0.972とのこと。小数点以下3桁以下があると問題が出てくるので、これは厳密にしていきたい。きちっと理論的な整合を取らないといけないところですので、よろしくお願ひしたい。

局： 初期安全率の精度を高めて見直しさせてもらって、完了の安全率を精度を高めるようにしていきたい。

渡邊委員： H30の豪雨で延長が求められたという文言を入れるべきと思う。  
T/yについて、全区域一律に計算されているのか。  
公式の表現の方法に、改善の余地があると思う。

局： 文言については検討させていただきたい。  
計算については、事務的に整理させてもらうこととし、全国統一した算定方法やマニュアルですので、ご理解願いたい。  
ご意見は上部に伝えることとしたい。

局： それでは、ただいままでの意見、文言を検討することとし、期中の評価3件の評価結果（案）については、「事業の必要性、効率性、有効性が認められること、地元の強い要望もあることから、今後も周辺環境に配慮しつつ事業を継続することが望ましい」ということでよろしいか。

各委員： 異議なし。

#### ○完了後の評価（治山事業2件）

笹原委員： 安全率、目標の1.10に対して、現状1.11となっている。過大な事業と言われかねないが、その説明が出来るようにしておいてもらいたい。

局： 現状安全率を見る時期によるところもあり、現状を説明できるように工夫をしたい。

渡邊委員： 成功事例、うまくいかなかった事例を集め、マネジメント力を高めることが大事と思う。

局： 今後の実務に活かしてまいりたい。

佐藤委員： 適正に事業が実施され、適正に評価も行われており、敬意を表します。森林生態について、数十年かかる事業は重要であり、中山間地域も変化することから、長期的視点で事業を検討してもらいたい。

局： 今後の実務に活かしてまいりたい。

局： それでは、ただいままでの意見、文言については検討することとし、完了後の評価2件の評価結果（案）については、「各事業とも、必要性、効率性、有効性が認められ、事業の効果が発揮されていると認められる」ということでよろしいか。

各委員： 異議なし。

○完了後の評価（森林環境保全整備事業「高知森林計画区」）

渡邊委員： 路網の便益について、マニュアルに書かれているとおり路網整備をした後、森林整備を実施しているということによいか。ダブルカウントが無いことの確認です。

局： そのとおりです。整備促進便益に含まれています。

笹原委員： 効率性について、より詳細に書けないか。例えば、コスト縮減についてなど。

局： 文言については検討させてもらいたい。

佐藤委員： 事務的なことだが、山嶺は三嶺の誤謬。修正願います。

局： 了承。修正することとしたい。

局： それでは、ただいままでの意見、効率性について修文することとし、高知森林計画区の評価結果（案）につきましては、「森林の公益的機能の発揮に寄与し、シカ被害への防止対策の実施や木材の安定供給に関する地域の要請に応え、今後とも評価結果を踏まえた事業の実施が望まれており、必要性、効率性、有効性などの評価の観点から、妥当なものとなっている」ということによろしいか。

各委員： 異議なし。